学科 学年	全学科 １年	科目 分類	地理 Geography	講義 必修	H23 通年 ２履修単位	学習教育 目標 １	担当	佐藤崇徳 SATO Takanori

概　要	本講義は，地表面に展開するさまざまな自然的・人文社会的事象を科学的にとらえ，その地域的特色を理解することによって，現代の国際社会に生きていく資質を養うことを目的とする。本講義では，自然地理学・人文地理学および地誌学に関するいくつかの事柄を取り上げて学習することを通して，地理的な見方・考え方を培っていく。授業では地図作業などの活動も適宜取り入れる。
科目目標 (到達目標)	人文地理学（経済地理学ほか）の意義および基礎的事項を理解する。 自然地理学（地形学，気候学）の意義および基礎的事項を理解する。 スイスおよびインドに関する事例学習を通して，地誌的な地域のとらえ方を理解する。
教科書 器材等	「地理Ｂ」(東京書籍)，「高等地図帳」(二宮書店)，「データブック オブ ザ ワールド」(二宮書店)，1:25000地形図「三島」・「沼津」，　このほか適宜プリントを配布する。
評価の基準と 方法	定期試験の成績累計(約90%)および地図作業・レポートなどの課題の提出状況(約10%)により評価する。
関連科目	なし

授業計画

	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)	
第 1回		オリエンテーション ―高専で学ぶ地理―	
第 2回		人文地理―産業	チューネンの農業立地論
第 3回			現代における農業立地（１）
第 4回			現代における農業立地（２）
第 5回			ウェーバーの工業立地論
第 6回			現代における工業立地（１）
第 7回			現代における工業立地（２）
第 8回		自然地理―気候	気候のとらえ方
第 9回			気温と降水量，大気の大循環
第10回			気候の特徴をつかむ
第11回			世界の気候区分
第12回		自然地理―地形	地形のとらえ方，世界の大地形とプレートテクトニクス
第13回			日本付近のプレートテクトニクス，地震と火山
第14回			地形図から地形を読む
第15回			地形と土地利用景観，勾配
第16回			平野の地形を考える（１）
第17回			平野の地形を考える（２）
第18回			平野の地形を考える（３）
第19回			氷河性海面変動と地形発達
第20回			東京の地形を考える
第21回		人文地理―文化	地域による文化の差異，文化の伝播
第22回			民族，多民族国家
第23回		地誌	スイス地誌（１）
第24回			スイス地誌（２）
第25回			スイス地誌（３）
第26回			インド地誌（１）
第27回			インド地誌（２）
第28回			インド地誌（３）
第29回			インド地誌（４）
第30回		まとめ ―高専生と地理―，高専で学ぶ社会科系の授業科目について	

オフィス アワー	第１回の授業（オリエンテーション）において案内する。 基本的に，木曜日を除く放課後は教員室に在室している。
授業アンケート への対応	各回の講義内容（分量）を見直し，授業時間内に余裕を持ってまとまりの良いところで終わるようにし，また，その後で学生の質問等に対応する時間を作るようにする。
備　考	
更新履歴	20110322 新規